

# 各地区業況アンケート結果（28年12月調査分）

（28年12月26日）

全国鉄鋼販売業連合会

12月22日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ62名の回答があり（回答率41.1%）その結果が下記のとおりまとめましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※  $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

## 1. 前年同月を上回りDI値プラス

問1】貴社の11月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	20	7	21	7	7	62	56
比率	33%	11%	34%	11%	11%	DI+42	DI-50
売上金額/前年同月比	12	11	25	5	9	62	56
比率	19%	18%	40%	8%	15%	DI+19	DI-61

## 2. 黒字約8割に

問2】貴社の11月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	29	20	9	4		62	56
比率	47%	32%	15%	6%		DI+119	DI+80

## 3. 冬場に入り若干減少ぎみに

問3】貴社の営業窓口から見て12月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		7	26	9	1	43	-9	-9
民間建設向	2	9	28	9	2	50	±0	+16
自動車向		2	23	6	1	32	-19	-18
その他需要家向		11	34	7	2	54	±0	+8
仲間取引	1	13	27	9	2	52	+4	-8
計	3	42	138	40	8	231	-3	-1
比率	1%	18%	60%	17%	4%			

## 4. 1～3月期も需要落ち込まず

問4】貴社における向う1月から3月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	3	30	19	8	2	62	56
比率	5%	48%	31%	13%	3%	DI +39	DI +25

## 5. H形鋼に続き、表面処理、酸洗も不足ぎみに

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	品種別	A	B	C	D	E		12月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-46	-36	-39	-48	-32	-13	-28	-32	-27	-30	-24	-38	鉄筋用丸鋼		1	20	7	1	29	-28
-28	-21	-30	-21	-30	-21	-23	-15	-15	-15	-14	-17	構造用丸鋼		1	23	4		28	-11
-30	-12	-15	-22	-23	-11	-21	-11	-12	-8	-3	-8	平角鋼			28	2		30	-7
-17	-10	-22	-10	-34	-7	-16	-9	9	4	16	26	H形鋼	2	14	15			31	58
-33	-26	-47	-50	-57	-26	-38	-19	-14	0	4	0	コラム		5	16	1		22	18
-28	-13	-17	-19	-28	-12	-19	-10	-8	-10	-10	7	小形山形鋼	1	6	23	4	1	35	6
-28	-19	-17	-21	-30	-15	-22	-17	-18	-16	-10	7	中形山形鋼	1	7	23	3	1	35	11
-25	-27	-21	-18	-30	-21	-29	-18	-24	-7	-10	3	溝形鋼	1	7	23	2	1	34	15
-27	-25	-25	-37	-46	-64	-36	-22	-19	-19	-14	-13	軽量形鋼C形		1	23	2	1	27	-11
-57	-29	-44	-44	-32	-32	-33	-17	-28	-22	-20	-20	軽量形鋼広巾			17	2	1	20	-20
-40	-52	-58	-52	-62	-41	-55	-43	-44	-33	-23	-15	冷延薄板		4	19	3		26	4
-33	-33	-59	-41	-36	-35	-40	-35	-29	-20	-19	-6	熱延薄板		5	21	4	1	31	-3
-32	-44	-62	-53	-62	-46	-50	-53	-34	-27	-22	-7	表面処理鋼板	2	6	21	2		31	26
-42	-57	-69	-61	-63	-45	-48	-48	-29	-27	-22	-18	酸洗鋼板	2	9	16	3		30	33
-44	-38	-63	-54	-47	-32	-30	-23	-22	-24	-23	-9	中板	1	5	24	4	1	35	3
-30	-29	-57	-44	-44	-27	-16	-21	-20	-24	-23	-6	厚板	1	2	29	6		38	-5
-22	-18	-25	-31	-15	-11	-11	-4	0	-13	-5	-7	極厚板			16	2		18	-11
-35	-30	-22	-29	-25	-30	-11	-21	-17	-14	-11	-8	縞板			25	4		29	-14
-34	-33	-32	-38	-41	-32	-28	-26	-24	-22	-23	-20	中径角		1	26	6		33	-15
-32	-14	-19	-29	-33	-25	-33	-26	-17	-12	-17	-16	ガス管黒			28	5		33	-15
-31	-20	-24	-26	-31	-27	-23	-31	-25	-16	-15	-17	構造用鋼管			28	4		32	-13
-33	-27	-38	-35	-38	-28	-28	-24	-20	-17	-14	-8	計	11	74	464	70	8	627	2

## 6. メーカー値上げに追従できず、流通は価格転嫁難航

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	丸棒はスクラップ高を受けて、申し込みを止めている。スクラップ動向が気になる ところである。不需要期だが、メーカーネットに注目している。
	B	スクラップの急激な値上りと某電炉メーカーの値上げ発表で先高観が明確に出てきた。これから北海道は不需要期に入るが、ここでしっかり値上げしなければならない環境になった。
東北	A	忙しいファブと暇なファブの差が拡大している。現場の遅れとH形鋼の品切れが目立つ。
	B	12月、1月の需要は落ち込む見通しで厳しい。既に来年度の物件の話も出ている。
	C	2016年も残すところあと2週間となった。事故もなく無事に新年を迎えられるように祈る。在庫がこれだけ少ないのだから、値戻しのスピードをもう少し上げられると思うのだが。
新潟	A	相変わらず大きな盛り上がりには欠く。不需要期に向けて鋼材値上げに傾注している。
	B	メーカー値上げに需要家がついていけない。元請け(ゼネコン)はメーカー値上げの認識を持っているが、ファブに対する見積りは依然厳しい。
	C	県内の需要は相変わらず少ないが、首都圏の需要があり、11月は好調であった。この傾向はもう少し続きそうである。県内需要はあまり期待できない。
	D	暖房機など季節商品の生産はピークである。器物関連は輸出が好調だが、建産機は盛上りに欠けている。Hグレードファブは首都圏を中心に来秋までの山積みを確認している。工程遅れ等で直近稼働不足だが、冬場から徐々に動く見込みである。
	E	11月中旬以降、荷動きが良くなった。このまま続いてくれると良いのだが。
	F	価格は待ったなしの状態である。次の値上げ幅についても大きくアナウンスし実行を図る。安売りせず大事に売りたい。
東京	A	11月より値上げのお願いに廻るもなかなか受け入れてもらえない。仮需もない。薄板は冷延が好調。酸洗、熱延、表面処理は頭打ちで年平均以下である。しかし、物件は好調で、加工、工事関連はフル稼働である。なんとか年越しができそうだ。
	B	(鋼管) 前月に比べ日当り出荷は増加しつつある。
	C	表面処理鋼板はメーカーの申込みカットと納期遅れの影響で在庫がタイトになりつつある。仲間取引では値上り前の仮需と思われる動きもあるが、安値で出せる状況ではなく、メーカーの更なる値上げも頭に入れて商売しなければならなくなった。
	D	需要は少し良くなったが期待したほどではない。市況も上っているが、メーカーネットに市況がついていけない。スピードを上げる必要があるのではないかと。
	E	メーカー値上げを販売価格に転嫁できるよう努力している。
	F	メーカー値上げにより、値上げ玉が入荷してくることから価格転嫁に向けて動いている。
	G	鋼材の値上げ予測からの駆け込み需要、一部資源価格の持ち直しによるマイニング向け需要に動きが見られる。

東京	H	高炉メーカーの店売り向け供給カットが実施され、市中在庫は減少している。同レベルの仕入が続くようだと売るものがない状態になる恐れがある。値上げ云々より顧客を守れるかどうかの問題である。
	I	高炉メーカーのヒモ付きユーザー向けの価格が未決着のため、ユーザーに対して値上げができない。採算が悪化している。
静岡	A	鋼板類についてメーカー値上げのピッチが早くなってきた。依然として切板価格は様子見状態が続いている。仕事量は増えつつあるが収益性は続いている。
	B	景況は業種により斑模様が続いている。過度の期待は禁物である。実需は盛上りに欠け、転嫁は段階的に長引く様相である。設備投資向けの動きが上ってこない。
石川		鉄骨予測で来年3～5月は一時的に量が落ち込みそうである。2月までは満杯である。溶接工と大型トラックの運転手不足が続いている。ソーラーパネルの需要はまだ続く。繊維機械だけが回復していない。値戻しに関する会話が増えていった。
富山	A	前倒し発注が増加している。バストラック向けは多忙である。人手不足による自動化、省力化機械類の販売が増加している。
	B	当地区の建築出件数は減少傾向が続いている。目玉になるような物件もなく、競合が激化している。売上確保に走る同業者がおり、モラルの低下が感じられる。「金持ち喧嘩せず」とまでは言わないが、特約店商売にも余裕と誇りがあつたと思う。現状が残念である。
愛知	A	前年比売上減であった集購材が横ばいになってきた。これは前年実績が悪いため早く回復してほしい。大手切断業者に信用不安がある。商社、自動車メーカーは真剣に交渉してほしい。当社の10月決算は増益だった。11月スタートは家具、自動車（プロパー分）が悪かった。その分、他の業種でカバーし、前年より少しマイナスの利益で済んだ。値上げの報道があるが、仲間売り、建築向けの需要は出ているが、まだまだタイト感に乏しい。
	B	価格が全般的に上向いており、価格転嫁が急務となっている。また、市中在庫は一部サイズに歯抜けが見られるようになり、1月の生産待ちとなっている。鉄鋼メーカーは年明けも追加値上げを表明しており、客先との継続的な値上げ交渉が必要になるが、どの程度上げられるかは予想が難しい。
	C	「秋需」と呼ばれた活況を毎年、期待しているが、ここ数年表れていない。年末年始の自動車関係の設備補修もなかなか良い話がない。
	D	サービス付き高齢者施設などの中小鉄骨造物件が動いている。中小鉄骨造物件は好調だが、一方でRC造のマンションなどの物件が減少している。病院などの物件も従来はRC造であったが、鉄骨が主流になり、鉄筋需要自体が縮小化の方向に進んでいるように思われる。
	E	11月は秋需の影響で仕事が出た。ユーザーは勝ち組、負け組がはっきりしている。勝ち組は仕事はしっかりあり、負け組は仕事がない。東京オリンピックまでこのままいってほしい。
岐阜		材料高騰に対する価格転嫁に対応しきれっていない。建築に対し、機械钣金、製缶の状況が良くない。小ロット、多品種、短納期、安価の流れは変わらず先行き不安である。

広島	<p>来春に向けての高炉の段階的な値上げスケジュール公表に伴って、足元は特に薄中板が混乱して普段通りの買い物が出来なくなっている。原料の相場事情から一定の理解はできる。値戻しという意味では喜ばしいはずだが、当地区の需要環境は主力の自動車、造船中心にアメリカの新リーダーの動きひとつで更なる悪化の懸念もある。価格転嫁＝信用不安増に直結するのでは？と販売への恐怖心も感じている。</p>
岡山	<p>足元の建築需要は端境期で、荷動きは低調である。今後も期待するほどの量が出るとは思えないが、悲観するほど悪くもならない。一方でメーカーからの値上げ圧力が強い。得意先に納得してもらうのは難しいが、価格転嫁していくしかない。</p>
北九州	<p>仮需、短納期物件の手配が一巡し、荷動きは緩慢である。相場は安値が切り上るも、上値は重い。期待したほど売れていない。年明け以降、値上げは必至で売り焦り感はない。歯抜けも多く、ハードネゴが散見される。需要は堅調で、再度仮需手配が出てくるだろう。</p>
福岡	<p>11月度も本来の動きではなく、全体的に鈍い。得意先も二極化傾向にある。酒造メーカーの物件や熊本復興に向けての仕事も増えてきているので、1件1件、受注していきたい。材料（ステン、鉄）値上げの方向に動いているのが気になる。与信については、大きな倒産もないが情報交換をしっかりやっていきたい。</p>